

平成27年度学校評価【生徒】

評価基準	4 よくできた 強く思う よく知っている	3 できた 思う 知っている	2 あまりできなかった あまり思わない あまり知らない	1 できなかった 思わない 知らない
------	-------------------------------	-------------------------	--------------------------------------	-----------------------------

上の評価基準からあてはまるものを選び、評価欄に記入しなさい。

No.	評価項目	評価
1	分かりやすい授業が行われていて、あなたは学習内容をよく理解できている。	3.0
	上の間に、1または2と答えた生徒へ：「分かりやすい授業とはどのようなものですか」 〔 〕	
2	あなたは、授業に積極的に取り組むことができている。	3.1
	上の間に、1または2と答えた生徒へ：「積極的に取り組めてない理由はなんですか」 〔 〕	
3	先生は、宿題、週末・休業中の課題等により家庭学習の習慣を確立するよう工夫している。	2.6
4	あなたは、宿題、週末・休業中の課題等にしっかり取り組んでいる。	2.7
5	あなたは、わからないことがあれば、先生に質問し、理解するようにしている。	2.6
6	(5で3または4と答えた生徒へ) あなたが質問すると、先生は、わからないことやできなかったことについて納得がいくまで指導してくれる。	3.2
7	伊和高校では、長期休業中の補習や平常の早朝・放課後に補習が行われており、学力の充実を図るための機会がある。	3.0
8	あなたは、早朝・放課後・長期休業中の補習に参加し、その成果が得られている。	2.3
9	あなたは、進路実現に必要な科目や興味・関心のある科目が選択できている。	2.9
10	先生は、生徒に進路実現に向けて必要な情報提供やアドバイスをしている。	3.0
11	先生は、挨拶・身だしなみ・言葉遣い・マナー等について統一して指導している。	3.0
12	あなたは、挨拶・身だしなみ・言葉遣い・マナー等をしっかり守っている。	3.0
13	先生は、生徒とのコミュニケーションを密にしている、生徒との信頼関係ができている。	3.0
14	あなたは、総合的な学習の時間等における体験的な学習やボランティア活動に積極的に参加している。	2.9
15	伊和高祭・体育大会等の学校行事は充実していて、あなたは積極的に参加している。	3.2
16	部活動は活発に行われており、その成果を上げている。	2.9
17	あなたは、伊和高校に満足している。	3.1
	上の間に、1または2と答えた生徒へ：「学校に対して、何を望んでいますか」 〔 〕	
18	伊和高校は、生徒一人一人を大切にしている。	3.1

平成27年度学校評価【保護者】

評価基準	4 よくできている 強く思う	3 できている 思う	2 あまりできていない あまり思わない	1 できていない 思わない
------	-------------------	---------------	------------------------	------------------

上の評価基準からあてはまるものを選び、評価欄にご記入ください。

	評価項目	評価
1	学校ホームページの更新を随時行い、学年通信等とあわせて適切に家庭や地域に情報を提供している。	2.9
2	進路講演会や進路別説明会、インターンシップ等を実施し、望ましい勤労観や職業観を育成している。	3.0
3	交通指導や校舎内外の安全点検、いじめアンケート、避難訓練等を適切に実施し、安心・安全な学校生活の維持に努めている。	2.9
4	地域でのボランティア活動(地域清掃・福祉施設訪問等)や幼・小・中学校との連携を通して、地域に貢献するとともに交流を深めている。	3.0
5	生徒会活動や部活動及び「総合的な学習の時間」の在り方を工夫し、生徒の多様な個性や能力の開発に努めている。	3.0
6	少人数授業や習熟度別授業を通して、ひとりひとりのニーズに応じた指導を行うことで、学習意欲を高めるとともに確かな学力の定着を図っている。	2.8
7	多様な進路の実現に向けて、長期休業中の補習や平常の早朝・放課後の補習を適切に実施している。	3.0
8	生徒の進路実現に必要な科目や興味関心のある科目が選択できるよう教育課程を工夫している。	3.0
9	生徒ひとりひとりへの丁寧な声かけを通して、挨拶・礼儀・服装・言葉遣い・マナー等について意識を高める指導を行っている。	2.8
10	個人面談やキャンパスカウンセリング等を適切に実施し、生徒の内面理解に努めている。	2.9
11	職員と生徒との間で適切なコミュニケーションがとられ、相互の信頼関係ができている。	2.9
12	家庭への諸連絡の方法(配布物、電話等)は適切で、保護者との連携が十分に図られている。	3.0
13	伊和高祭や体育大会等の学校行事の内容は適切で、生徒が意欲的に取り組んでいる。	3.2
14	伊和高祭・体育大会・「総合的な学習の時間発表会」等の行事に、保護者や地域の方が参加しやすいよう工夫している。	3.0
15	先輩の活躍を伝えるとともに、校歌指導や愛校作業等を通して、誇りある伊和高生としての自覚を促している。	2.9
16	生徒ひとりひとりの今と未来を大切にした教育活動を行っており、信頼できる。	3.0

平成27年度学校評価【学校関係者】

学校評議員の皆さんによる学校評価

4：よくできている　3：できている　2：あまりできていない　1：できていない

	評価項目	評価
1	学校ホームページの更新を随時行い、学年通信等とあわせて適切に家庭や地域に情報を提供している。	3.1
2	進路講演会や進路別説明会、インターンシップ等を実施し、望ましい勤労観や職業観を育成している。	3.1
3	交通指導や校舎内外の安全点検、いじめアンケート、避難訓練等を適切に実施し、安心・安全な学校生活の維持に努めている。	3.0
4	地域でのボランティア活動(地域清掃・福祉施設訪問等)や幼・小・中学校との連携を通して、地域に貢献するとともに交流を深めている。	3.3
5	生徒会活動や部活動及び「総合的な学習の時間」の在り方を工夫し、生徒の多様な個性や能力の開発に努めている。	3.1
6	少人数授業や習熟度別授業を通して、ひとりひとりのニーズに応じた指導を行うことで、学習意欲を高めるとともに確かな学力の定着を図っている。	3.1
7	多様な進路の実現に向けて、長期休業中の補習や平常の早朝・放課後の補習を適切に実施している。	2.9
8	生徒の進路実現に必要な科目や興味関心のある科目が選択できるよう教育課程を工夫している。	3.0
9	生徒ひとりひとりへの丁寧な声かけを通して、挨拶・礼儀・服装・言葉遣い・マナー等について意識を高める指導を行っている。	3.0
10	個人面談やキャンパスカウンセリング等を適切に実施し、生徒の内面理解に努めている。	3.1
11	職員と生徒との間で適切なコミュニケーションがとられ、相互の信頼関係ができている。	3.3
12	家庭への諸連絡の方法(配布物、電話等)は適切で、保護者との連携が十分に図られている。	3.1
13	伊和高祭や体育大会等の学校行事の内容は適切で、生徒が意欲的に取り組んでいる。	3.4
14	伊和高祭・体育大会・「総合的な学習の時間発表会」等の行事に、保護者や地域の方が参加しやすいよう工夫している。	3.4
15	先輩の活躍を伝えるとともに、校歌指導や愛校作業等を通して、誇りある伊和高生としての自覚を促している。	3.1
16	生徒ひとりひとりの今と未来を大切にした教育活動を行っており、信頼できる。	3.2

平成27年度学校評価【教職員】

【教育方針】

校訓「自主、敬愛、創造」のもと、夢や目標をもち、自立して未来に挑戦し、将来にわたり地域社会を支える有為の人材を育てるために、「確かな学力」の確立と「豊かな心と健やかな体」の育成を図るとともに、「公共の精神」と「郷土を愛する心」を養い、知・徳・体の調和のとれた人格の完成を目指す。

【教育目標】

- (1) 活気に満ちた安心安全な学校づくり
- (2) 豊かな人間性と社会性を育む学校づくり
- (3) 地域に信頼され親しまれる開かれた学校づくり

4：よくできた 3：できた 2：あまりできなかった 1：できなかった

領域	評価の観点	評価項目	番号	実践目標	年度末	中間
学校運営	開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信	1	学校ホームページの更新を随時行い、広く家庭や地域に学校の情報を発信する。また、オープンハイスクール・中学校訪問を実施する。	3.3	3.3
		地域の声をいかした学校運営の推進	2	学校評議員会、伊和の里ひとづくり懇話会、生涯教育推進協議会、伊和高等学校教育振興協議会等を通じて地域と課題を共有し、地域と連携しながら学校改善に努める。	2.9	3.0
	生徒指導	生徒指導体制の充実	3	生徒の実情に応じた指導内容を全職員で共有し、一貫した生徒指導を展開する。	3.1	2.8
		生徒の内面を理解する工夫	4	キャンパスカウンセリングを年20回以上実施し、生徒の内面を理解するとともに、その健全な成長を支援する。	3.2	3.0
	進路指導	進路指導体制の充実	5	3年間を見据えて、進路指導に関する年間計画を作成し、組織的・継続的に進路指導を実施する。	3.2	3.1
		職業観・勤労観の育成と進路意識の向上	6	進路講演会・進路別説明会・卒業生との懇話会・インターンシップを実施し、生徒の職業観・勤労観を育成し、2年進級時には進路目標を決定させる。	3.2	3.0
	教職員の資質向上	実践的指導力の向上	7	全職員が実践的な指導技術や専門性の向上を目指し、校外の研修等に参加するとともに、定期的に公開授業・研究授業を行う。	3.1	2.8
		計画性を持った研修の実施	8	学習指導・進路指導・生徒指導・人権教育指導など、学校の諸課題について校内研修を計画的に立案し実施する。	3.1	2.7
	危機管理体制の整備	家庭・地域・関係機関と連携した危機管理体制の推進	9	平時においても常に安全・安心について意識する。また、定期的に研修等を実施して防災に係る予知・予防の意識を高めたり、実践的な訓練・研修を行ったりする。	2.7	2.7
	インクルーシブ教育	教育的ニーズへの対応	10	特別な支援が必要な生徒に対する「合理的配慮」について全職員で共通理解を図り、適切な支援を実施する。	3.1	3.0
	勤務の適正化	効率の良い勤務形態の推進	11	校務分掌や学校行事の精選、適切な勤務の割り振り等を実施し、勤務時間の適正化を図る。	2.6	2.7
教育課程	自ら学び自ら考える力の育成	主体的・協働的な学習の展開	12	協働的、体験的な学習及び、アクティブラーニングを授業に取り入れる。	3.0	2.8
	個に応じた学習指導の徹底	評価方法の創意工夫	13	評価方法について協議し、各教科・科目において観点別評価を工夫する。	2.9	2.9
		指導形態の工夫	14	各教科で個別指導、グループ指導、一斉指導等の効果的な指導形態を研究し、個に応じた指導を行う。	3.0	2.9
	特別活動	ボランティア活動	15	ふるさと貢献活動・ボランティア活動等への積極的な参画を促し、自己有用感や地域に奉仕する心を育成する。	3.4	3.0
部活動の活性化		16	生涯学習の一環に部活動を位置づけ、心身の鍛錬と協調の精神の育成に努めるとともに、卒業後の豊かな人生に資する。	2.8	2.6	
課題教育	人権教育	人権教育推進体制への取組	17	人権LHRの充実はもとより、学校の教育活動全体を通じて、生徒の身近な問題から人間を相互に尊重し合う態度を育成する。	3.0	2.7
	環境・福祉教育	高齢者や障害のある人等への理解を深める指導の推進	18	福祉施設との交流や奉仕活動を計画的に実施し、福祉に対する意欲や関心を持たせ、高齢者や障害のある人等への理解を深める。	3.4	3.1
		環境教育の推進	19	省エネルギー、ゴミ削減、リサイクル等の身近な問題から環境への関心を高め、より良い環境を創造するための実践力を高める。	2.8	2.5
	学校の個性化・多様化	特色ある教育課程	20	学校設定科目や多様な選択科目を設定し、類型の特色化と効果的な教育課程を研究する。	2.9	2.9